

2025

7/1

July

No.460

市報やまぐち



特集	湯田温泉こんこんパークオープン	2
特集	投票に行こう！	
	～未来はあなたの一票から～	4
	未来へ紡ぐ合併の足跡 ～ 20 年の歩みと次なるステージ～	6
	自分で作った栄養バランスのよい朝ごはん	7
	県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」	7
	市政トピックス	8
	山口祇園祭	9

市報やまぐちの 8 月 1 日号と 8 月 15 日号は、合併号として 7 月 31 日に発行します。

湯田温泉の恵みと大屋根で広がる豊かな暮らしの拠点

NEW!

湯田温泉こんこんパークオープン



活用コンセプト

令和5年10月から整備を進めていました湯田温泉こんこんパークが6月にオープンしました。本施設は、住んでよし、訪れてよしの湯田温泉の実現に向けて、「あそびば」「まなびば」「たまりば」という活用コンセプトのもと、市民が日常的に利用できる全天候型の大屋根広場（通称：こんこん広場）、温浴施設、温泉交流スペースなど、さまざまな機能を持つ施設です。本市の誇る地域資源である湯田温泉の恵みを市民や観光客に気軽に楽しんでいただくとともに、これまで市内ではできなかった体験や、世代を超えた交流、観光客との交流の機会を提供することで、湯田温泉の新たな魅力とにぎわいを生み出します。

☎ 湯田温泉パーク整備推進室 ☎ 083-934-2615

あそびば

▶▶▶ イキイキ遊ぶ

子どもから高齢者までのあらゆる世代が、施設全体を使って、自由な発想でそれぞれの世代に応じた“あそび”を生み出し、“あそび”のある充実した暮らしを提供する場です。

まなびば

▶▶▶ ワクワク学ぶ

あらゆる世代の生涯学習の場としての活用や、市民の好奇心をくすぐる新たな“まなび”を生み出し、“まなび”を通じて人生を豊かにする場です。

たまりば

▶▶▶ ノンビリ過ごす

イベント会場としての活用や、市民が気軽に訪れ、自分の時間を過ごしたり、市民同士や観光客との交流を図ったり、豊かな時間消費を楽しむ場です。

あらゆる世代の市民や観光客が自由に施設を活用し、心身の健康を増進



2階のお絵描きエリア



今話題のeスポーツを学べる



足湯でほっこりくつろぐ

施設内容の紹介

湯田温泉こんこんパークが持つ、「交流」「温浴・健康」「屋外」の3つの機能についてご紹介します。

温浴・健康機能

温浴施設には、趣の異なる2つの浴室をはじめ、車椅子で入浴できる昇降式浴槽を備えた貸切風呂や、種類の異なる無料の足湯を設置し、“湯田温泉”という本市が誇る地域資源を市民や観光客にもっと身近に感じていただくことができます。



自然を楽しみながら温泉を満喫できる「森の湯」

利用者の声



市内在住
佐藤 乙穂 さん

湯田の地域資源を満喫でき、細部までこだわりが詰まったすてきな公園です。足湯に入りながら子どもが遊んでいる様子を見守ることができるので「公園＝遊びに付き合う場所」ではなく、大人も一緒に楽しめます。これからも利用したいです。

交流機能

施設の最大の特長である全天候型のこんこん広場や大型ビジョン等を活用したさまざまな交流事業をはじめ、足湯（有料）が楽しめるビッグテーブルや飲食施設を設置した温泉交流スペースにおいて、ワークショップ等を実施するなど、本施設や湯田温泉の特長を生かした「まなびば」「たまりば」として利用していただくことができます。



オープン当日に開催された もちまき

屋外機能

白狐をモチーフにした遊具のある芝生広場や噴水広場、また2階のデッキスペースには、インクルーシブ遊具やお絵描きエリアなども設置し、多くの方に、施設全体を「あそびば」として利用していただくことができます。



子どもたちが夢中で遊べる芝生広場

今後開催予定のイベント情報

8月開催予定！『こんこんウォーターパーク』

こんこん広場に巨大プールが登場！！お楽しみに。

その他イベント

7月の毎週木曜日は健康企画満載！

- ・健康寿命を延ばす！
メディフィットクラブトレーナーの運動教室
- ・高齢者を対象とした
簡単エクササイズ・ストレッチ教室

他にも
楽しいイベント
盛りだくさん！



自家用車でお越しの際は、臨時駐車場をご利用ください。満車の場合は、近くの有料駐車場の利用をお願いします。



投票に行こう！

未来はあなたの一票から

選挙での投票は一人一票、平等に与えられた大切な権利です。政治や社会へ自分の意思・意見を反映させるためにも投票に行きましょう。

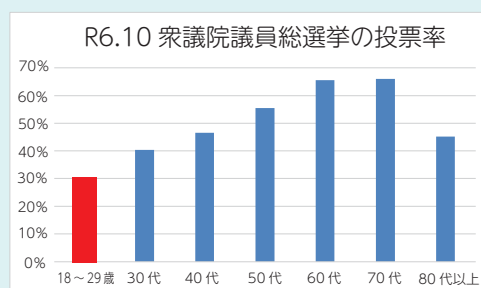
問 選挙管理委員会 ☎ 083・934・2877



最近の投票率、ご存じですか？

令和6年10月に行われた衆議院議員総選挙（小選挙区）では、山口市の投票率は51.03%でした。その中でも、18～29歳の若年層の投票率は30.4%であり、ほかの年代と比較し、著しく低い水準です。

また、有権者数に大きく差があるため、投票者数で比較すると、18～29歳が6,063人であるのに対し、投票率が一番高い70代は16,603人であり、約10,000人もの差があります。若年層の意思・意見を反映させるためには、より多くの投票が必要です。



山口市は、若年層と一緒に選挙を考えています

若年層が選挙や政治を自分事として捉え、積極的に参加してもらうために、本市では当事者である若年層と一緒にさまざまな啓発活動を行っています。

＼取り組み① / 中学・高校での出前授業

平成28年から選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられたことに伴い、本市では市内の中学・高校に出向き、出前授業を実施しています。

出前授業では、選挙に関する講義を行うだけでなく、実際に選挙で使用する投票箱等の資材を使い、模擬投票も行っています。模擬投票では、生徒が候補者役となり、「学校生活にまつわるテーマ」で演説を行うなど、より選挙を身近に感じてもらうためのきっかけづくりに取り組んでいます。



＼取り組み②／ センキョコンシェルジュ山口

令和4年から市内在住・在学の大学生有志を「センキョコンシェルジュ山口」に任命し、出前授業で講師役を務めるほか、SNS（ソーシャルネットワークサービス）での啓発、明るい選挙推進協議会との街頭啓発を行うなど、若年層視点での選挙啓発に取り組んでいます。



▲Instagram



＼取り組み③／ 「ようわからん！選挙がマンガでわかる本」

選挙に関してよく寄せられる問い合わせを4コママンガにして、解説付きで分かりやすく紹介しています。素朴な疑問だけでなく、選挙に関するちょっとした雑学なども、掲載していますので、ぜひご覧ください。



▲閲覧はこちらから



投票方法・投票の流れ

＼投票方法は3パターン／

当日投票

投票日当日に、所定の投票所（事前送付の入場券に記載あり）でのみ投票ができます。
※障がいやケガ等で、自分で投票用紙に記載することが困難な場合は、代理投票ができます。



期日前投票

当日投票が困難な場合、市内の期日前投票所で投票ができます（どの期日前投票所でも投票可）。
※期日前投票所によって開設日時が異なります。詳細は入場券に同封のチラシをご確認ください。
※山口期日前投票所は「山口市役所新本庁舎（山口総合支所）1階の会議室 101」に開設します！

不在者投票



旅行や仕事等で、投票所での投票ができない場合に利用できます。また、病院に入院中の方なども、事前手続きにより、利用できる場合もあります。



▲詳細はこちらから

＼投票所での投票は4ステップ！／

- ①入場券を受付に渡す。
- ②投票用紙を受け取る。
- ③投票記載台で候補者名または政党名等を記入する。
- ④投票箱へ投票用紙を投函する。



令和7年～8年の選挙予定



- ・令和7年7月：参議院議員通常選挙
 - ・令和7年10月26日：山口市長選挙
 - ・令和8年1月～2月頃：山口県知事選挙
 - ・令和8年4月頃：山口市議会議員一般選挙
- ※投票日等は、事前に市報や市ウェブサイトにてお知らせします。

本年10月には、新しい山口市が誕生して20周年を迎えます。これまでのまちづくりについて振り返るとともに、まちづくりに関わる方の声をご紹介します。

～20年の歩みと次なるステージ～

“古き良きもの”と“最先端”が調和するまちづくり

大殿・白石・湯田地域を中心とした山口都市核には、国宝瑠璃光寺五重塔に代表される歴史的な文化財や、一の坂川や亀山公園等の自然に囲まれた街並み、まちなか温泉である湯田温泉など、長い歴史の中で大切に守られてきた古き良きものがあります。一方で、山口情報芸術センター〔YCAM〕などを中心に創造される、最先端の文化・芸術が、コンパクトにまちに溶け込み、身近に感じられるエリアでもあります。

新市誕生後は、特性をさらに伸ばし、住む人、訪れる人、働く人、学ぶ人など、多様な人々を惹き付けることのできるエリアを目指し、まちづくりを進めています。

5つのゾーンが織りなすまちの姿



interview

山口都市核に対するイメージは？

山口市は市民が誇りに思えるような歴史や文化の要素が多く秘められていて、魅力的なまちだと思います。例えば一の坂川などは非常に文化を感じられますし、YCAMや、最先端技術を利用したものづくり体験が可能な中心商店街にあるVIVISTOPなど、芸術やアートに触れる機会も多く展開されています。だからこそ、感性の高い市民が多いのだという印象を受けています。

新型コロナウイルス感染症の流行により、自宅や自宅周辺などで過ごす時間が増えたことで、身近な山口市の良さに気づき、より愛着が湧くといった、山口市の魅力を再認識する機会があったと感じています。

山口都市核における

未来への展望は？

山口市役所新本庁舎棟や湯田温泉こんこんパークの完成など、さまざまな取り組みが同時進行でスタートした「今」が、都市全体の質がレベルアップする一歩重要な時期と考えています。今ある場所の住み良さを

topic!



歴史文化と美しい自然、人々の温かみなどの魅力が評価され、ニューヨーク・タイムズ紙「2024年に行くべき52カ所」に山口市が掲載されました！

をどのように充実させていくか、市民や学生など民間の方々と一緒に考える仕組みを作り、みんなで活性化させようという環境を生み出すことが大事だと考えます。また、まずは一の坂川交通交流広場やどうもん広場などの小さなエリアごとの質を向上させ、これらを結び付けて、大きなエリア全体の価値を高めていく。こうした取り組みが、魅力的なまちづくりへの近道なのではないかと思っています。



自分で作った栄養バランスのよい朝ごはん



「第19回ばく・わたしのお料理コンクール」では、朝食を欠食しないこと、主食・主菜・副菜をそろえて食べることができることを目指し、栄養バランスのよい朝ごはんを自分で作ることにチャレンジしてもらうため、「自分でできたよ！朝ごはん」というテーマで、小中学生からおすめの朝ごはんを募集しました。

先月に続き、受賞作品を紹介します。(学年は昨年受賞時)

受賞作品は、市ウェブサイトや子育て保健課Instagram(右の二次元コード)でもご覧いただけます。



ウェブサイト Instagram

☎ 083-921-7085

宮野小学校 3年 ふじいりょうや ふじい み ゆ 藤井亮哉さん・藤井美友さん

Point 8つの食材「まごわやさしいこ」を意識して栄養バランスを整えよう！

ま：豆 さ：魚
ご：ごま し：椎茸等きのこ類
わ：わかめ等海藻類 い：芋
や：野菜 こ：ごはん

亮哉さん作
「ぼくの最強朝ごはん」

美友さん作
「私のスーパー朝ごはん」

～材料～

- ・納豆……………1パック
- ・ごま……………適量
- ・のり……………適量
- ・オクラ……………2本
- ・ミニトマト……1～3個
- ・ちりめんじゃこ……適量
- ・なめこ……………1/4パック
- ・長芋……………30g程度
- ・ごはん……………茶碗1杯分

「まごわやさしいこ」の食材をお好みで彩りよく盛り付け、自分だけのスペシャル朝ごはんを作ってみましょう！



～作り方～

- 1 オクラとなめこを茹でます
※オクラは輪切りにしておきます
- 2 長芋をすりおろします
- 3 納豆を混ぜます
- 4 どんぶりにごはんをよそい、その上に長芋・のり・なめこ・納豆・ちりめんじゃこ・オクラ・ミニトマトを彩りよくのせます
- 5 最後にごまを散らせば完成！
※ウズラの卵などお好みでトッピングして下さい



山口県央連携都市圏域

山口ゆめ回廊

YAMAGUCHI YUME KAIRO

圏域の市町におでかけしよう！

※詳細は、各お問い合わせ先へご確認ください。



圏域7市町のイベント情報

美祿 水神公園滝開き・そうめん流し

雁飛山の東の麓にある山道に沿った溪流涼景の美しい自然公園です。7月6日(日)は、滝開きの神事の他、マスのつかみ取りや金魚すくい等もあります。

期間 7月5日(土)～9月30日(火)

場所 水神公園(於福町上西寺)

☎ 西寺そうめん流し事業部

☎ 090-3176-4609



▲詳細はこちら

萩 夏期特別展「絶滅動物展」

地球上から姿を消した世界や日本の“絶滅動物”、日本各地で消滅の危機に直面している“絶滅危惧種”の標本や模型を計200点以上展示します。

頭骨模型などの体験展示もあります。

期間 7月19日(土)～9月21日(日)

☎ 萩博物館(堀内355)

☎ 0838-25-6447



▲詳細はこちら

津和野 激動韓国 - 日韓国交回復から60年 -

朝鮮半島の南に位置する韓国と日本の国交が回復した1965年頃から現在にいたるまでの韓国の記録を展示した企画展を開催します。

期間 7月18日(金)～10月15日(水)

☎ 桑原史成写真美術館

(後田イ71-2)

☎ 0856-72-3171



▲詳細はこちら

山陽小野田 おのだ七夕祭り2025

飲食バザー、キッチンカー、七夕飾りコンテスト表彰式、ステージイベントなど、楽しいイベントがあります。

日時 8月2日(土)

場所 小野田運動広場(中川5-10-3)

☎ 小野田商工会議所

☎ 0836-84-4111



▲詳細はこちら

宇部 第71回宇部市花火大会

1954年に始まり、今年71回目を迎える、宇部市花火大会は、宇部港を背景に、まるで真下から花火が見えるような迫力ある花火大会です。

日時 8月9日(土) 20時 開演

場所 宇部港(港町1-5-5)

☎ 宇部市花火大会実行委員会(宇部商工会議所内) ☎ 0836-31-0251



▲詳細はこちら

防府 TrickArt展 - だまし絵?印象派? ふしぎなアートミュージアム -

教科書や美術館で展示されているような世界の名作をモチーフにしたトリックアートの展覧会です。

ふしぎな美術館をお楽しみ下さい。

期間 7月26日(土)～8月24日(日)

☎ 防府市地域交流センター アスピラート(戒町1-1-28 笑顔満開通り)

☎ 0835-26-5151



▲詳細はこちら

市政トピックス



ウェブサイト
でも公開中

山口市・パンプローナ市姉妹都市締結45周年記念山口市民訪問団結団式を行いました

本市とスペイン・パンプローナ市は、昭和55年2月19日に姉妹都市提携を締結し、今年で45周年を迎えました。



▲記念撮影の様子

これを記念して、5月7日(水)に、多々良健司団長(山口市・パンプローナ市姉妹都市締結45周年記念事業実行委員会委員長)の他21人で構成される、山口市民訪問団の結団式を行いました。式にて市長は「パンプローナ市民との交流をより深め、末永く交流を続けるための新しいアイデアが生まれることを期待している」と述べました。

述べました。

山口市民訪問団は、市長を団長とする公式訪問団とともに、5月17日(土)から19日(月)にかけて、パンプローナ市にて開催された、山口市・パンプローナ市姉妹都市締結45周年記念式典に参加したほか、ヤマグチ公園、ヤマグチ図書館、サン・ファン・デ・ラ・カデナ小学校を訪れ、パンプローナ市民と交流されました。

固 国際交流課 ☎ 083・934・2725

「県内企業人材確保促進月間」で市長が事業所を訪問しました

5月の「県内企業人材確保促進月間」にあわせ、5月13日(火)、市長が山口公共職業安定所長と共に市内事業所を訪問し、人材確保の要請を行いました。

この日、市長と山口公共職業安定所の高津純子所長は、萩山口信用金庫と株式会社山口建設コンサルタンツ、宇部樹脂加工株式会社社の3事業所を訪れ、宇部樹脂加工では、石井代表取締役社長らが対応されました。

市長は要請書を手渡し、「社会情

勢が変化する中、魅力ある職場環境の整備やリ・スキリングなどの人材育成の促進に協力いただきたい」と要請しました。また、高津所長は「多様な人材の就労機会の確保を、引き続きお願いしたい」と依頼しました。



▲宇部樹脂加工石井社長(右)に要請書を手渡す市長(中央)と高津所長(左)

固 ふるさと産業振興課 ☎ 083・934・2645

令和7年国勢調査山口市実施本部の発足式を行いました

6月2日(月)に、令和7年国勢調査山口市実施本部の発足式を行いました。

国勢調査は、日本国内に居住するすべての人(外国人を含む)および世帯を対象とした我が国最大の統計調査で、5年に一度実施され、本年は10月1日を期日に全国一斉に実施されます。人口・世帯の実態を把握することを目的とし、調査結果は国

や地方公共団体の各種行政施策等の基礎資料となるほか、企業等における需要予測や経営管理への活用、学術・研究機関における研究のための活用など、さまざまな分野で幅広く活用されています。

実施本部を設置することで、国勢調査の円滑かつ正確な実施に向けて、庁内連携による体制を整備します。また、今年度は新たな取り組みとして、山口大学のボランティアサークルと連携し、大学生等へのSNSを通じたPR活動等に取り組み、調査の周知や調査への協力気運を醸成していきます。



▲実施本部看板の前で、記念撮影をする大学生らと市長(中央右)

発足式で市長は、「実施本部員の皆さんには、市民の皆様のご協力のもと、正確かつ円滑な調査が実施されるよう業務に取り組んで欲しい」と述べました。

固 デジタル推進課 ☎ 083・934・2748

山口祇園祭

山口に夏の訪れを告げる山口祇園祭。室町時代に大内氏が京都から勧請した八坂神社の例祭です。約600年もの間続く、山口の伝統あるお祭りに、ぜひお越しください。

山口観光交流課 ☎083・934・2810

7月20日（日）

浦安の舞奉納

拜殿で地元の小学5年生が、扇の舞、鈴の舞の2部からなる浦安の舞を優雅に披露します。

▼時間 18時から

▼会場 八坂神社

鷺の舞奉納

鷺の舞では、鷺に見立てた頭と羽をつけて雌雄の鷺に扮した成人男性の舞い手が舞います。

▼時間 18時30分から

▼会場 八坂神社

祇園囃子

太鼓・笛・鉦の楽器で演奏され、どこか懐かしさを感じる音色が奏でられます。

▼時間 18時50分から

▼会場 八坂神社から商店街まで

御神幸（ごじんこう）

八坂神社から御旅所までの約2kmを、約400人の裸坊に担がれたみこしが練り歩きます。

▼時間 19時から

▼会場 八坂神社から御旅所まで

7月24日（木）

市民総踊り

1500人を超える参加者が踊る「市民総踊り」。参加チームごとに異なる掛け声もお楽しみください。

▼時間 19時30分～21時

▼会場 中心商店街

7月27日（日）

浦安の舞奉納

▼時間 19時から

▼会場 御旅所

御還幸（ごかんこう）

裸坊が担ぐみこしと女性が担ぐ女みこしが御旅所から八坂神社まで巡行します。

▼時間 19時30分から

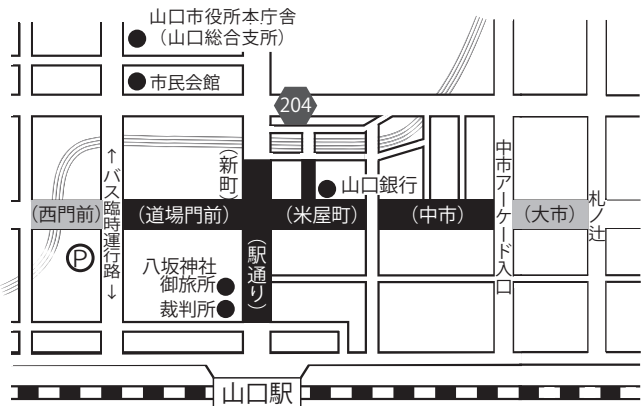
▼会場 御旅所から八坂神社まで

交通規制（車両通行止め）

■…7月20日（日）、27日（日）の車両通行止め区間

■…7月24日（木）の車両通行止め区間

※いずれも19時～22時は車両通行止めします。



みこしの担ぎ手 募集



山口観光夏祭り	対象	申込期限	申し込み 問い合わせ
7/20（日）御神幸 7/27（日）御還幸	裸坊 （男性）	7/10 （木）	山口祇園祭振興会 ☎083-920-0222
7/27（日）御還幸	女みこし （女性）		山口市商店街連合会 ☎083-902-0892

表紙の写真 笑顔のハシワタス

表紙の写真は、山口市役所旧本庁舎で開催されたイベント「さようなら旧市庁舎プロジェクトハシワタス」にて、遊んでいる子どもたちの様子です。

旧本庁舎は、昭和36年から39年にかけて山口大学教育学部の校舎として建設され、その後、昭和49年に本市が引き継ぎ、山口市役所の庁舎として約半世紀にわたり使用しました。

新本庁舎の供用開始に伴い、役割を終えた旧本庁舎で開催された、市民の方による文化・芸術イベントでは、旧本庁舎がにぎやかな音楽や色とりどりの作品で彩られ、訪れた方を笑顔にしていました。また、多くの来場者の方が、旧本庁舎の歴史や最後の姿に思いをはせていらつしやいました。

これから旧本庁舎の跡地は、市民交流棟・新立体駐車場・広場に生まれ変わります。

山口広報広聴課 ☎083・934・2753



▲市内の大学生による演奏を、たくさんの方が聴き入っておられました。



イベントカレンダー

7/6 (日)

第2回 Joint Concert
—山口県を代表する
大学吹奏楽団の響宴—

所 岡山 山口市市民会館
☎ 083-923-1000

7/12 (土) ~ 9/15 (月・祝)

コログルあそびのひゃっかてん
2025

所 山口井筒屋2階
岡 山口情報芸術センター
[YCAM]
☎ 083-901-2222

子どもたちの五感を刺激し、
新しい発想を生み出す仕掛け
がたくさんです。



撮影：山中慎太郎 (Qsyum!)

7/19 (土) ~ 9/15 (月・祝)

企画展「黒鐵から白鐵へ 新小郡
鉄道物語」

所 岡 小郡文化資料館
☎ 083-973-7071

蒸気機関車の終焉を目前に、
縮小の一途を辿る小郡機関区
と小郡町が生き残りをかけて
挑んだ「新幹線駅誘致プロジェ
クト」とその後の物語です。

7/26 (土)

菜香亭親子ワークショップ
「徳地和紙で作る夏の和紙灯り」
※要事前申し込み

所 申 岡 山口市菜香亭
☎ 083-934-3312

球状のライトに和紙を貼り付
け、オリジナルの灯りを作り
ます。徳地和紙の手触りや透
け感を楽しんでみませんか。



ゆうくんとマツトさんの「かい
じんハテナ？」

所 山口情報芸術センター
[YCAM]

岡 山口市文化振興財団チケッ
トインフォメーション
☎ 083-920-6111

ヘンテコで自分勝手にワガマ
マな怪人と“ボク”の物語を、
世界で活躍する人形劇師・
沢則行さんとのコラボレー
ションでお届けします。



©水戸芸術館 ACM 劇場 撮影：刑部アツシ

7/31 (木) ~ 10/5 (日)

特別企画展
「中原中也の<声>
——朗読とラジオ放送」

所 岡 中原中也記念館
☎ 083-932-6430



開催中のイベント

7/7 (月) まで

企画展「山口の道と名所～往還・
大路小路とその界隈～」

所 岡 十朋亭維新館
☎ 083-902-1688

萩往還・石州街道・山陽道など
の山口市域を通る往還（街道）、
市中を縦横に走る大路小路、そ
の界隈の施設や名所について紹
介します。



21地域の皆様と共に

今年の梅雨入りは、平年より4日遅
く、昨年よりも9日早かったそうです。
農作物にとっては恵みの雨も、長雨や局
地的に降る雨は、冠水や河川の増水を
誘発し、私たちの生活を脅かすことと
なります。

市では、先月、大雨による浸水被害
や土砂災害の発生を想定した「防災図
上訓練」を行い、新本庁舎を中心とし
た情報伝達手順などを確認しました。
また、阿知須地域と佐山地域で行われ
た県の総合防災

訓練には多くの
皆様が参加され、
避難所運営に中
学生が関わるな
ど、地域を挙げ
た実践的な訓練
となりました。

5月末から始
まった今年度の移
動市長室におい
ても、多くの地域で災害や防災に関連
する課題を取り上げられています。こ
うした皆様の関心の高さが、地域の力
となり、安心して住み続けられる地域
づくりにつながるものとなります。

移動市長室は9月まで続きます。こ
れからも市民の皆様と地域課題につい
てしっかりと語り合い、個性と安心の21地
域づくりの取り組みを市全体の元氣
へと波及させてま
いります。

山口市長
伊藤和貴



©りおた



共に
歩む

